

## 地域健康ボランティア（健康づくり推進員）活動における OPPA モデルを応用した乳幼児歯科保健活動の試み

○文元基宝<sup>1,2)</sup>、赤井綾美<sup>1)</sup>、吉田弥代<sup>1,2)</sup>、福原 稔<sup>1)</sup>、福原早紀<sup>1)</sup>、田村達二郎<sup>1,2)</sup>、松田人恵<sup>1,2)</sup>、森岡 敦<sup>1)</sup>、大橋正和<sup>1)</sup>、津田 真<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>関西ウェルビーイングクラブ、<sup>2)</sup>文元歯科医院

(索引用語：OPPA モデル、地域保健、住民参加)

口腔衛生会誌 56 (4), 2006

はじめに：

筆者らは、H17年3月に奈良県御所市健康増進課から地域ボランティア活動の一員である「健康づくり推進員（以下健推員）」が活動を予定していた歯科保健についての助言と支援の依頼を受けた。

健推員は、各自治会から2年間の任期で選出され、地域保健活動を実践している。今回支援した歯科担当グループ11名は、任期最終年の2年目の活動にあたる。我々はOPPAモデルを応用し地域保健活動の計画策定と活動を支援した。今回、計画策定から活動へ至るプロセスを観察しOPPAモデルの有用性を確認したので報告する。

方法：

平成17年5月～7月に合計3回の健康教育プログラム（概要は表1）を計画した。第1回目は健推員だけでなく御所市民を対象とした歯周病予防教室を中心に、歯科保健の知識向上と行動変容を目標にした。第2回目はOPPAモデルの主旨に従い、健推員と担当保健師を対象として、御所市民の口腔保健状況を確認しあい（情報の共有化）、健推活動として取り組む課題（目標）を共有化することにした。そして第3回目は、平成18年3月までの具体的な実践課題の行動計画を立て、参加者全員が目標と役割の共有化を図れるようなプログラム案を計画した。

結果及び考察：

健推員活動は乳幼児歯科保健に決定した。具体的なプロジェクトとしては、「FSPD 3&5 型質問紙調査」と「定期健診受診とフッ化物塗布活動」の2項目が上がり、それぞれの行動計画と活動記録をアクションプランカードに記載しながら実行した。

・「FSPD 3&5 型質問紙調査」

平成17年11月の歯みがき教室と3.6ヶ月健診時において54名に実施した。その調査結果から御所市乳幼児の保健行動や、それに関連する知識、技術、受け皿組織についての実態を健推員と行政スタッフが共有した。そして話し合いの結果、フッ化物応用、甘味食&飲料、健診受診、刷掃指導の各々についての取り組みが具体化した。

・「定期健診受診とフッ化物塗布活動」

継続的なフッ化物塗布が受けられるように、フッ化物塗布記録カードを製作した。そして御所市歯科医師会との連携と協力によりフッ化物塗布促進の案内と実施医療機関一覧表を記載したリーフレットを全乳幼児家庭に郵送した。

・「依存から協働へ」

計画の策定から活動のプロセスで目的や目標の共有化が起こり行政と健推員の関係が「依存する関係」から「協働で進める関係」へと変化し、地域保健活動に取り組むようになった。

以上のように、健推員が主体的に行政と共に目標に掲げた課題を達成し、健推活動としての成果を上げる事が出来た要因を我々は表2のようにOPPAモデルの概要により解釈したが、今回のような短期間における活動や専門家による限られた支援においても、OPPAモデルの有用性が示唆された。

表1 各回のねらいと目標

回(月日)	ねらい・目標・概要	ツール・留意点
第1回 2005.5.20	・歯周病予防について理解を深める ・歯ブラシ、歯間清掃具の使用技術 ・清掃後の爽快感 ・口腔保健行動の目標を立てる	・WIFI ・ヘルスビリーフモデル ・強化 ・KJ法 ~ 自己宣言シート
第2回 2005.6.23	・振り返り：自己評価-相互評価 ・歯科保健課題の共有化-ゴールQOLの共有 ・行政と市民の協働事例紹介 ・自己判断-どのようなことをしたいか	・違反防止シート ・レクチャー ・モデリング ・OPPAモデル ・KJ法(3因子の検討)
第3回 2005.7.28	・グループで実行可能で効果的な目標の設定 ・プロジェクト&アクションプラン計画 ・発表 ・最終評価(質疑)と今後の支援体制	・OPPAモデル ・アクションプランカード ・強化

表2 OPPAモデルの概要と活用

概要	活用
1. ゴールをWell-being とし、QOLと健康を一体化した概念として捉える	△
2. 住民参加を第一義にしている	○
3. 診断プロセスで推進力をつける工夫をしている	×
4. エコロジカルアプローチとプログラムマネジメントの考え方を導入している	○
5. シンプルでわかりやすいプロセスにしている	○
6. 短期間で活動計画が策定できるように工夫している	○
7. 計画から実施へスムーズに移行するようにしている	○
8. 計画から実施へ至るプロセスで、常に目的を見失わないような工夫をしている	○